

イチゴ農家とイチゴ用化粧箱の販路を探していた印刷会社とのマッチング

有限会社岸印刷 (栃木県)

栃木県栃木市にある総合印刷業。積極的に「印刷物+α」のサービスに取り組む事業者。

1. 相談のきっかけ

相談者は新商品として、イチゴの贈答用化粧箱を製作。輸送中でもイチゴが傷つかず、振動を吸収し商品を安定的に支えられる機能の中敷きを開発。

製作した化粧箱は2個入・5個入など用意し、外装は高級感を出す為に黒色を使用。主に栃木県が売り出している高級イチゴである「スカイベリー」の贈答用化粧箱として販売する事を考えていた。

この新商品のさらなる販路開拓のために、イチゴの提供元及び販路先を探して欲しいと以前別件で相談した当拠点を再訪した。

2. 課題整理・分析

・新製品の構造上、一見して高級果実専用とも思えたが、汎用性も利く箱であると製品の構造を改めて確認。

・相談者が想定しているスカイベリー(イチゴ)以外の果物や青果への活用も検討できると判断。

・そんな折、芳賀農業振興事務所より、「とちおとめ」イチゴ農家である新井農園様から贈答用の化粧箱を探しているという相談を拠点を受け、販路展開の相談者の販路拡大のきっかけとして認識。

3. 解決策の提案

・「とちおとめ」と「スカイベリー」というイチゴの種類の違いはあるが擦り合わせれば岸印刷様の化粧箱が使用可能と考え、両者のマッチングを提案した。

・実際に、事業者へ新井農園様を紹介し、新製品である化粧箱を新井農園様のとちおとめの贈答用化粧箱として使えないか面談しながら提案。

4. 成果

・当拠点のマッチング面談の際、化粧箱の質感や機能(輸送に対しての傷付きにくさ)は問題ないと判断され、色やデザインを工夫すれば、新井農園様の化粧箱として使えそうだと結論づいた。

⇒とちおとめに合わせた化粧箱デザインにリニューアルして使う方向性が確定、スカイベリー以外への販路拡大が実現。

・並行して贈答用の販路に関して検討。新井農園様自体での贈答用化粧箱として使うほか、提供可能量等も考慮しながら、別に結婚式場での出席者贈答用としての販路も確保にまで至った。

→この商品は、結婚式という事で紅白に金の天使というデザインに変更し、「新郎新婦からの甘いプレゼント」というコンセプトも作成した。当社の技術を核としてさらなる商品展開につながっている。

